

事務事業名	叙勲者の会開催事業				担当	総務部 秘書室	
政策名	H	施策体系外			増補版施策名		
施策名	1	施策体系外の事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S57 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠							
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	1. 一般管理費			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙勲者の会は叙勲受章者で構成する任意団体で、研修会等の事業を通じて、多年にわたる経験を生かした社会貢献活動を行っている。</li> <li>・年会費は1万円。事業にかかる費用は全て会費で賄っている。</li> <li>・事務局を秘書課で担当している。</li> </ul>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 ・総会、研修、秋の懇親会、新年会を開催。 ・開催準備、予算管理等の事務局事務を担当。  31年度計画 平成30年度と同じ。		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：事業実施回数	回	3	3	3	4	4
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 叙勲者のうち会に賛同する者		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：会員数	人	55	54	59	57	57
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 会員（叙勲者）相互の親睦を深めてもらう。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：総会・新年会に出席した会員数（割合）	%	50	44	41	41	41
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 会員それぞれの立場で社会に貢献してもらう。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：社会貢献できた会員数（割合）	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	60	60	60	60	60
		人件費計(B)	千円	251	249	249	250	250
		トータルコスト(A)+(B)	千円	251	249	249	250	250

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	叙勲受章者同士の親睦と多年にわたる社会経験を活かし地域に貢献したいとの目的から会が組織された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	発足当時は、現在より少ない人数であったが、その後は35～40人くらいの会員数で推移する。平成21年度には、合併により旧二宮町叙勲者が入会し、現在は、60人前後の会員数で推移している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	参加者からは有意義であるとの意見があった。